



## mFOLFOX6

催吐リスク: 3

適応疾患: 切除不能・再発胃がん

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル(45時間持続)	2400 mg/m <sup>2</sup>	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m <sup>2</sup>	d1
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	d1

## mFOLFOX6+トラスツズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	d1、15、29
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1、22
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1、22
フルオロウラシル(46時間持続)	2400 mg/m <sup>2</sup>	d1、15、29
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m <sup>2</sup>	d1、15、29
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	d1、15、29

## mFOLFOX6+ニボルマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	d1
オブジーボ	240 mg/body	d1
フルオロウラシル(45時間持続)	2400 mg/m <sup>2</sup>	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m <sup>2</sup>	d1
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	d1

## SOX

催吐リスク: 3

適応疾患: 胃がん(切除不能・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## SOX+トラスツズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## SOX+ニボルマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
オプジーボ	360 mg/body	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## SOX+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース(オキサリプラチンは6コースまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
キイトルーダ	200 mg/body	d1
ティーエスワン(内服)	80-120 mg	d1～14→1週休薬

## weekly アルブミン懸濁型パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アブラキサン	100 mg/m <sup>2</sup>	d1、8、15

## XELOX

催吐リスク: 3

適応疾患: 胃がん(切除不能・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## XELOX+トラスツズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## XELOX+ニボルマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
オプジーボ	360 mg/body	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## XELOX+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース (オキサリプラチンは6コースまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
キイトルダ	200 mg/body	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## アルブミン懸濁型パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アブラキサン	260 mg/m <sup>2</sup>	d1

## イリノテカン(2週1コース)

催吐リスク: 3

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>	d1

## イリノテカン(5週1コース)

催吐リスク: 3

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 5週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イリノテカン	100 mg/m <sup>2</sup>	d1、8、15

## イリノテカン+シスプラチン(4週1コース)

催吐リスク: 4

適応疾患: 切除不能胃がん

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イリノテカン	70 mg/m <sup>2</sup>	d1、15
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1

## オプジーボ(2週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 胃癌(進行・再発)

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オプジーボ	240 mg/body	d1

## カペシタビン+シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## カペシタビン+シスプラチン[ショートハイドレーション]

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## カペシタビン+シスプラチン+トラスツズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## カペシタビン+シスプラチン+トラスツズマブ[ショートハイドレーション]

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## カペシタビン+トラスツズマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ゼローダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## カペシタビン+ペムブロリズマブ《ペムブロリズマブ併用レジメン使用後》

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース(前治療含め35コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg/body	d1
ゼロダ(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬

## ゾルベツキシマブ+mFOLFOX6

催吐リスク: 4

適応疾患: CLDN18.2陽性HER2陰性の切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	d1
ビロイ《2回目以降》	400 mg/m <sup>2</sup>	d1
ビロイ《初回》	800 mg/m <sup>2</sup>	d1
フルオロウラシル(46時間持続)	2400 mg/m <sup>2</sup>	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m <sup>2</sup>	d1
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	d1

## ゾルベツキシマブ+SOX

催吐リスク: 4

適応疾患: CLDN18.2陽性HER2陰性の切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
ビロイ《2回目以降》	600 mg/m <sup>2</sup>	d1
ビロイ《初回》	800 mg/m <sup>2</sup>	d1

## ゾルベツキシマブ+XELOX

催吐リスク: 4

適応疾患: CLDN18.2陽性HER2陰性の切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	d1
カペシタビン(内服)	2000 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
ビロイ《2回目以降》	600 mg/m <sup>2</sup>	d1
ビロイ《初回》	800 mg/m <sup>2</sup>	d1

## ティーエスワン+シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん

投与スケジュール: 5週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	60 mg/m <sup>2</sup>	d8
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～21→2週休薬

## ティーエスワン+シスプラチン[ショートハイドレーション]

催吐リスク: 4

適応疾患: 胃がん

投与スケジュール: 5週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	60 mg/m <sup>2</sup>	d8
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～21→2週休薬

## ティーエスワン+シスプラチン+トラスツズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	60 mg/m <sup>2</sup>	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## ティーエスワン+ドセタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行・再発胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
ドセタキセル	40 mg/m <sup>2</sup>	d1

## ティーエスワン+ドセタキセル+トラスツズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
ドセタキセル	40 mg/m <sup>2</sup>	d1
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## ティーエスワン+トラスツズマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ティーエスワン(内服)	80 mg/m <sup>2</sup>	d1～14→1週休薬
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1

## ティーエスワン+ペムブロリズマブ《ペムブロリズマブ併用レジメン使用後》

催吐リスク: 1

適応疾患: HER2陰性の化学未治療の切除不能な進行又は再発胃癌

投与スケジュール: 3週1コース(前治療含め35コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg/body	d1
ティーエスワン(内服)	80-120 mg	d1~14→1週休薬

## ドセタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 再発・進行胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ドセタキセル	60 mg/m2	d1

## ドセタキセル+オキサリプラチン+ティーエスワン

催吐リスク: 3

適応疾患: 切除可能局所進行胃癌(術前)

投与スケジュール: 3週1コース(3コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	100 mg/m2	d1
ティーエスワン(内服)	80 mg/m2	d1~14→1週休薬
ドセタキセル	40 mg/m2	d1

## トラスツズマブ デルクステカン

催吐リスク: 3

適応疾患: 進行胃がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
エンハーツ	6.4 mg/kg	d1

## ニボルマブ(4週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 胃癌(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	480 mg/body	d1

## パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
パクリタキセル	80 mg/m2	d1、8、15

## パクリタキセル+トラスツズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 12週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
トラスツズマブ(Day1)	8 mg/kg	d1
トラスツズマブ(Day22,43)	6 mg/kg	初回以降3週間隔
パクリタキセル	80 mg/m2	d1、8、15を4週毎

## フルオロウラシル+シスプラチン+トラスツズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: HER2過剰発現が確認された胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	d1
トラスツズマブ(2回目以降)	6 mg/kg	d1
トラスツズマブ(初回)	8 mg/kg	d1
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1～5

## フルオロウラシル+メトトレキサート+ホリナート

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(進行・再発)

投与スケジュール: 2～3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
フルオロウラシル	600 mg/m <sup>2</sup>	d1
メトトレキサート	100 mg/m <sup>2</sup>	d1
ロイコボリン(内服)	(5mg)2錠×6回(6時間ごと)	d1

## フルオロウラシル5日間持続療法

催吐リスク: 2

適応疾患: 胃がん(切除不能又は再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	d1～5

## ラムシルマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発胃癌

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
サイラムザ	8 mg/kg	d1

## ラムシルマブ+アルブミン懸濁型パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行・再発胃癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アブラキサン	100 mg/m <sup>2</sup>	d1、8、15
サイラムザ	8 mg/kg	d1、15

## ラムシルマブ+パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行・再発胃癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
サイラムザ	8 mg/kg	d1、15
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>	d1、8、15

#### 推奨投与量の単位

mg/m<sup>2</sup>:【体表面積】あたりの量

mg/kg:【体重】あたりの量

AUC:カルバートの式により算出 ⇒ 投与量(mg/body)=AUC目標値 × (GFR+25)

#### 略語の意味

NSCLC:非小細胞肺癌

SCLC:小細胞肺癌

PD:病勢進行